

**授業概要**

この授業では、受講生が国際的な文化理解を促進できる力や国際化する社会に貢献できる力を備えるようになるために、英語圏の一つであるイギリスという異文化社会を取り上げ、その国の在り方を含めて、その文化や社会の諸相（例えば、スポーツなど）を講義する。なお毎回の授業の最後に、授業内容に関連した問題演習（提出）を行う。

**授業計画**

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 第 1 回  | ガイダンス（授業の進め方など）、イギリスの基本情報について        |
| 第 2 回  | 多様性：民族、4つの地域の概要等について                 |
| 第 3 回  | イギリスとヨーロッパの関わり：アルファベット、キリスト教の伝来等について |
| 第 4 回  | ロンドン：略史、歴史的エピソード等について                |
| 第 5 回  | クラス：3つの階級、貴族等について                    |
| 第 6 回  | 王室：歴代の王・女王、現王室メンバー等について              |
| 第 7 回  | 祭り：祝祭日、主な祭り・イベント等について                |
| 第 8 回  | スポーツ：有閑階級と民衆のスポーツ、スポーツの文明化等について      |
| 第 9 回  | 食生活：イギリスの代表的料理、紅茶等について               |
| 第 10 回 | 交通：道路網、鉄道等について                       |
| 第 11 回 | 環境保護：森の歴史的变化、ナショナル・トラスト等について         |
| 第 12 回 | 神話・伝説：ケルト神話、アーサー王伝説等について             |
| 第 13 回 | 文学：名作等について                           |
| 第 14 回 | 芸術：音楽、絵画について                         |
| 第 15 回 | 第 1 回～第 14 回のまとめ                     |
| 第 16 回 | 学期末試験                                |

**到達目標**

受講生が以下のイギリスという異文化社会に関する基礎的及びより専門的な知識を身につけることを到達目標とする。

1. 基礎的な事項（例えば、公用語）を答えることができる。
2. より専門的な事項（例えば、設立の背景を含めて、ナショナル・トラスト）を説明することができる。

**履修上の注意**

授業開始後 30 分以上超えた場合は欠席扱いとするので、注意すること。私語厳禁。

**予習・復習**

プリントを読んだうえで授業に出席すること。授業後は学んだ内容を確認すること。

**評価方法**

学期末試験 65%、第 2 回から第 14 回に課された問題演習 25%、授業参加（発表）10%。

**テキスト**

教員作成のプリントを使用する。また Power Point 等も活用する。